平成24年度(対23年度実績) 事務							事	7	第	評	価	矛	ζ		作成I	日 平成	24 年	5 月 22 I
部局名	健康福	祉部		所属名	健康福祉	上課				所	属長名	臼	田弘		電話	483-115	1 内線2	2210
1. 事	務事	業の位	置付け・概要	更(P I	LAN)													
コード	*	9137	事務事業名称 市営霊園運営管理事業												短縮コ	ード 経常	913′	7 臨時 91
予算区分	分会計	- 36	墓地事業特別会計		款 01	総務費				項	01	総務	· 答管理費		目	01 一般	管理費	'
区公		自治事務	፟ □ 法定	受託事務	; to the	加注合笔	八千代	市墓	基地等の	 経営の	許可等	等に関	する条例	,八千代市営	霊園設置	及び管理は	こ関する	条例
区分 根拠法令等 根拠法令等																		
事業概	事業概要(事務事業を開始したきっかけを含めて記入)																	
	平成11年度に策定された「八千代市公営墓地建設事業基本構想・基本計画」に基づき,市民要望の高い市営霊園を建設した。平成22年度より供用を開始し,利用者の募集及び利用許可証の発行、墓碑設置等の手続を行っている。																	
事務事	業を取	り巻く∜	犬況の変化 又、≦	後の変化	との推測				6 本の)柱(章	重)	01	第1章例	建康福祉都市る	をめざし゛	T		
がいな。	くなった	と墓地の	んでいく中で,墓 対応の必要が生じ	る。また	、当霊園	こは芝生	墓地	Ī	大項	目(節)	02	第2節社会福祉					
			れているが、今後 設等の検討が必要		区画数以上の利用が見込ま ってくる。		수 음 計	†	中	項目		07	7. 墓地・斎場					
					画 の 施 策) <u>+</u>	小	項目		01	(1)墓地の整備運営							
							体系	⊧ ⊦	红田	項目	3	99	墓地の整備運営(細項目なし)					
								ivЩ	次 F	•								
									実施計画	計画事事								
計画事業	業の位置	置付けの	有無		計画	事業期	間			~			計	一画事業費	t			千円
2. 事	2.事務事業の目的・指標・実績(DO)																	
対象 (誰を(ている(何を対 のか)	象にし	全市民(市営霊)市営霊園	園利用希	望者)													
手段			※平成23年度に実 施設の維持管理			川用許可、	墓碑設置	登等(の手続き	ŧ								
(具体的のやり) 細)	的な事績 方、手順		※平成24年度に計 施設の維持管理,			計可,差	逐碑設置等	等手,	続き									
意図 (何を教 か)	狙ってし	いるの	都市における墓地 このため、本事業 配慮した公共施設	とは, 故人	を慰霊す	る場とし										で得られる	る場とし	って, 周辺にも
ねらい 意図)	(上位加	施策の	入力対象外															
区	分									単位		2 2 4			23年			2 4 年度
		指標 1	市営霊園希望者	*/r					人			実組		計画	817	実績 ————	70	計画 7
		7日1示 「	11日並图布至有第	奴人					^				1, 567		01/		70	/

区分			#4 / +	2 2 年度	2 3	2 4 年度	
			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	市営霊園希望者数	人	1, 567	817	70	766
対象指標	指標 2	市営霊園数	園	1	1	1	1
	指標3	指標3					
	指標 1	市営霊園建設基数	基	0	0	0	0
活動指標	指標 2	新規利用者数	人	1, 498	210	70	193
	指標3						
	指標 1	市営霊園希望者数に対する建設供用基数の割合	%	72	80	6. 3	80
成果指標	指標 2	合葬式墓地の供給数	体	536	290	79	234
	指標3						
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

⊐ -	コード 9137 事務事業名称			名称	市営霊園運営管理事業			所属名	健康福祉課		
H 14			単位	2 2 年度	2 3 年度				2 4 年度		
単位				平区	実績	計画	実績		計画		
			围	千円							
			県	千円							
	財源内訳	1:	地方債	千円							
_		_	-般財源	千円	106	45			93		84
事業費		-	その他	千円	15, 379	18, 875			16, 944		16, 721
費 (A)	主 な	主な事業費の内訳			賃金5,715千円, 光熱水費 1,429千円, 委託料3,844千円	賃金5,632千円 光熱水費 1,920千円 委託料 4,702千円	賃金4,530 光熱水費 1,332千戸 委託料 3,575千戸	3		賃金5,633千円 光熱水費 1,688千円 委託料 4,785千円	
人件費(B)				千円	17, 318. 4	14, 021. 8			14, 416. 1		14, 021. 8
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B)			+ (B)	千円	32, 803. 4	32, 941. 8			31, 453. 1		30, 826. 8

3. 事務事業の評価(SEE)

評価 類型									
規至	評価事項	評価区分	理由						
		☑ 結び付いている	市民要望の多かった市営霊園の運営管理を行うことによ 運営」に結びついている。	って,第4次総合計画の「墓地の整備					
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある							
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない							
		□ 評価対象外事項							
		□ 達成している	平成22・23年度に利用者の募集を行った。引き続き残区画の募集を行うとともに、今後、利用者が墓碑の設置や墓参のために霊園を利用していることから、適正な運営管理を行う。						
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない							
	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	市の施策として設置した墓地であるため、市で管理運営	していく。					
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない							
	(民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	□ 評価対象外事項							
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある							
		□ 評価対象外事項							
		□ 有効性向上の可能性がある							
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある							
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	☑ 両方可能性がある							
	入する。	□ 可能性がない							
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	☑ 民間委託等	当市で初めての市営霊園であるため、再任用職員配置及び臨時的任用職員を活用し施設運営の 効率性・有効性を図っていく。また同時に今後、指定管理者制度の導入や民間委託等で民間の ノウハウを導入することで有効性や効率性の向上が可能かどうかについても検討をしていく。						
効 性 •	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 再任用職員及び臨時的任用職員等 の活用							
効 率 性	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等の業務プロセスの見直し							
111	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し							
		□ 類似事業との統合・役割見直し	事務	実施主体 (所管部署)					
		□ 上記以外の方法	名称 2	実施主体(所管部署)					
	5-3 推進にあたっての課題はあ るか?(一時的な経費増・市	☑ ある	墓地という特殊な業務のため、民間のノウハウ及び運営	経費について検討する必要がある。					
	民の理解等)	ない							

⊐-	ード 9137 事務事業名称	市営霊園運営管	管理事業		所属名 健康福祉課					
今後	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	□ 事業規模 □ 統合・役 □ その他 □ 廃止・休止	セスの改革・改 の拡大・縮小 割見直し	<u>.</u> た	が, 事業のさ	供用を開始し、再任用職員及び臨時的任用職員を活用し施設運営を進めてき らなる有効性・効率性の向上を図るために民間の経営手法を活かした指定管 引委託について検討を行っていく必要がある。				
の方向		□ 事業完了 								
性				経 費	Ì	平成22年度の供用開始から現在は市直営であるが、指定管理者制度の導入や日間を発展している。				
			削減不		増加	民間委託等の民間経営手法により,運営の有効性・効率性の向上を図れる余 地がある。				
	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理	미 또								
	由を記載する。	成 ———								
		果 <u> </u>								
この ※内 市員	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
所属長コメント	平成22年度より当市では初めてとな における事務の効率を図る為,指定					臨時的任用職員により当施設の運営を行っている。 しかしながら,今後当事業				
	☑ 改革改善して継続	徐の民間委託等	に備え、民間	の運営手	法を参考とし	て、課題の解決に努めること。				
評価調整委員会										
評価	事業完了									
ІЩ	□ 現状のまま継続									